

保育士・幼稚園教諭等の処遇改善



新型コロナウイルス感染症対策

問 3月6日でまん延防止等重点措置が解除されたが、その後の対策を市長から市民に呼びかけてほしいがどうか。

答 市の感染者数は厳しい状況にある。引き続きの対策を市民に呼びかけたい。

問 自宅療養者等に対する食料品や生活物資の無料配布の現状は。

答 令和3年10月1日から生活物資提供事業を開始。2月末現在で延べ160世帯、565名。

問 5歳から11歳を対象にしたワクチン接種の市の考えは。

答 市として情報収集や情報発信に努める。また、本人及び保護者が納得した上で接種の判断をお願いしたい。

再発言 保護者の不安を取り除けるよう取り組んでほしい。

問 2歳以上園児のマスク着用に対する市の考えは。

答 国からの通知により、慎重に対応し無理強いすることなく、子供の安全に十分留意する旨を保育所等に周知する。

問 市職員・教職員・消防職員が濃厚接触者となった場合

の対応は。

答 保健所等の指示に従い、特別休暇による自宅待機としている。

保育士・幼稚園教諭等の処遇改善

問 関市長の子育て支援に対する思いは。

答 安心して出産・子育てできる環境づくりが不可欠と考える。保育所等の安全対策やICT化の推進など、子育て世代に魅力的なまちづくりをしっかり取り組んでいく。



問 保育士等を対象に賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度引き上げるための措置が2月から9月までの間に実施されるが市の取組状況は。

答 国において保育士等処遇改善臨時特例交付金が創設され、今後、本市でも各事業所へ補助金を交付する予定。

問 10月以降は補助金ではなく、必要経費の4分の1を市が負担する予定となっているが、市の考えは。

答 処遇改善分を含む公定価格の見直しがあると聞いており、市としても努力したい。

再発言 各園の意見・要望をしっかりと聴き、保育士が働きやすい環境や、園児の安心・安全な生活環境の整備を。

地域公共交通計画

問 地域公共交通計画の目指すものは。

答 市民や来街者の利便性向上を図り、安心して移動できる地域公共交通を目指したい。

問 移動手段の確保に関する市長の決意は。

答 誰もが安心して移動できる、具体的に効果のある計画をつくっていきたい。

大牟田市観光基本計画(案)

問 令和4年度からの新たな計画案と以前の計画の違いは。

答 より地域経済の活性化に資する施策や事業を取りまとめている。また、KPIを設定し取組を進めていきたい。

大牟田市まちなか活性化プラン(仮題)

問 本市や中心市街地を取り巻く環境は年々厳しさを増すが、市の思いは。

答 新たなプランを6月に策定予定で、20年先を見据えながら中心市街地の活性化に取り組みたい。

再発言 地域公共交通計画や、観光基本計画と本計画の3つの計画は、立地適正化計画と関連性があると考える。

市民の移動や地域活性化のためにも総合的に検討を。